



【BV+PTX(90)毎週3投1休 療法について】 (ペバシズマブ+パクリタキセル)



😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
ジフェンヒドラミン錠 (レスタミン)	過敏症を抑えるお薬です	1日1回 内服		5錠							5錠								5錠												
グラニセトン注	吐き気止めです	30分																													
ファモチジン注 (ガスター)	過敏症を抑えるお薬です																														
デキサメタゾン注 (デキサート)			デキサート注には、吐き気止めとしての作用もあります。																												
パクリタキセル注	抗がん剤です	60分																													
ペバシズマブ注 (アパスチン)	抗がん剤です	90分								2回目から投与時間が短くなる場合があります。																					
生理食塩液		15分																													



この週はお休みです。



この週はお休みです。

😊 治療による副作用

📅 : 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28							
	過敏症																																			
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																		
	食欲不振・吐き気																																			
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																																		
	関節痛・筋肉痛																																			
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																																		
	口内炎																																			
		口の中が荒れて痛みが出る場合があります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																																		
	手足のしびれ																																			
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出る場合があります。																																		
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)																																			
		髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																																		
検査値	白血球減少																																			
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																		
	赤血球減少(貧血)																																			
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																		
	血小板減少																																			
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																		

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●血圧上昇 ●出血(鼻血など) ●タンパク尿 ●胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ●傷の治りが遅い ●血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。

名古屋市立西部医療センター薬剤科(代表)052-991-8121